

---

# 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2008年4月23日号

©2008年3月小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年3月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 現在の冬小麦生産地の気象条件は全体に正常

3月下旬の西北、華北、黄淮（黄河・淮河流域）地区の冬小麦は越冬後、青く芽吹いている。黄淮南部の一部や江淮（長江・淮河流域）、江漢（長江・漢河流域）の冬小麦は拔節期（主茎の節が急伸する時期）に入っている。また、西南地区の冬小麦は拔節期から抽穂期（穂の出る時期＝出穂期）にあり、西北の春小麦は播種から発芽期にある。気象条件を見ると、春になって全国の大部分の農区において気温が持続的に高く、日照が十分で土壌の湿度も比較的適当であり、北方の冬小麦の発芽成長および春小麦の播種発芽には有利であった。ただし、3月中旬になって華北の大部分および黄淮東部では降水量が少なく、土壌の乾燥が急速に進み、一部の地区では干ばつが持続あるいはより深刻になった。しかし、3月下旬に入り、北方地区の広範囲で降水があり、土壌の湿度が効果的に改善された。気象部門の予測によると、2008年の冬小麦地区の農業気象条件は全体に正常で、平年並みと見込まれている。

## 2 1～2月の小麦輸出量は大幅減

2008年1～2月の中国の小麦輸出量は、明らかに減少した。そのうち小麦の輸出量は前年同期比46.04%減の10.83万トン、小麦粉の輸出量は同7.54%減の6.24万トンとなった。

また、小麦の輸入はなかったが、小麦粉輸入量は同12.78%減の2,147.74トンとなった。

### 3 国際小麦市場は、3年度連続で需要が生産を上回る

米国農務省（USDA）の2008年3月の予測によると、2007/08年度の世界の小麦生産量は、前年度比1.98%増の6億496万トンと見積もられている。期首在庫量が2,259万トン減となったため、総供給量は同1.46%減の7億3,002万トンとみられている。小麦消費量は、同0.63%増の6億1,962万トンと予測されている。これにより、世界の小麦需給は、3年度連続で需要が生産を上回り、当年度の需給ギャップは1,466万トン、期末在庫量は11.74%減の1億1,040万トンとみられ、1978/79年度以来、最近30年間で最低の水準と予測されている。在庫消費比は、前年度比2.5ポイント減の17.82%と見積もられている。また、国際小麦価格が上昇を続けていることから、輸入国の需要が減少し、世界の小麦貿易量は減少するとみられ、2007/08年度の世界の小麦輸入量は、前年度比6.65%減の1億486万トンと予測されている。

### 4 国内の小麦市場は基本的に安定

今年に入り、国家最低買上価格小麦の競売放出が毎週行われている（2月の春節＝旧正月の期間を除く）。統計によると、1月以降の1回当たりの競売量は440万トン前後で、成約量は春節後に何度か100万トン以上を記録したほか、大部分は100万トン以下の水準であった。3月に何度か実施された競売の成約量および成約率は、明らかに低下した。国家最低買上価格小麦の競売放出が定期的な実施されるのと同時に、各地で備蓄食糧の更新放出が実施され、加えて農家の食糧在庫量が前年に比べ多いため、小麦の供給は保障されている。1～3月の小麦市場は全体に安定しており、普通小麦（一般品質の小麦）価格は小幅な揺れ、優良小麦価格は安定しつつも下落している。3月の鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦価格は1トン当たり1,574円で、前月比0.9%高、前年同月比5.1%高となった。第1四半期の平均価格は、前年同期比5.0%高の同1,569元となった。

3月の優良小麦の卸売価格は同1,644円で、前月比0.96%安、前年同月比0.4%安となった。同じく第1四半期の平均価格は、前年同期並みの同1,660元となった。

### 5 国際小麦価格は高水準で推移

2007/08年度に入り、世界の小麦市場は3年度連続で需給ギャップが生じ、需給が逼迫したことから、国際小麦価格は急速に上昇し、2008年2月までこの状態が継続した。同年3月、USDAは、2007/08年度の世界の小麦生産量および期末在庫量の予測値について、前月に比べ上方修正しており、さらに投機資金操作の要素が加わったことから、小麦価格の騰勢は緩和する趨勢にあり、かつ春小麦価格も高水準ながら穏やかな値動きとなっている。

2008年3月の西北太平洋の硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本船渡し価

格＝FOB価格）は1トン当たり534.33ドルで、前月比4.89%高（上昇幅は16.69ポイント減）、前年同月比1.49倍高となった。第1四半期の平均価格は、前年同期比1.29倍増の同487.53ドルとなった。また、同年3月の西北太平洋の硬紅春麦（蛋白質含有量14%）のFOB価格は同647.67ドルで、前月比21.28%安、前年同月比1.94倍高となった。同じく第1四半期の平均価格は、前年同期比2倍高の同655.74ドルとなった。

先物取引では、2008年3月のカンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は1トン当たり415.69ドルで、前月比3.04%高、前年同月比1.32倍高、第1四半期の平均価格は、前年同期比1.16倍高の同390ドルとなった。また、同年3月のミネアポリス取引所における硬紅春麦の平均先物価格は同564.25ドルで、前月比11.14%高、前年同月比2.07倍高、第1四半期の平均価格は、前年同期比1.94倍高の同539.91ドルとなった。

2008年3月の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は、同月の国内優良小麦の消費地における卸売価格に比べ、1トン当たり3千円以上高く、内外価格差は前月よりも拡大した。